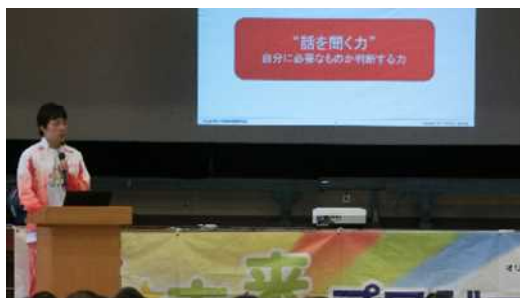




心の中にレガシーを

副校長 柴田 英文



運動会の後に蒔いた冬芝の種が、校庭を黄緑色のカーペットにしています。先日の学校公開週間では、天候に恵まれない日もありましたが、多くの皆様にご来校いただき有り難うございました。

さて、都内すべての公立学校では、2020 年に向けて、オリンピック・パラリンピック教育を推進しています。

本校においても、学校公開週間の 10 月 20 日に、ロンドン五輪 400mハードル日本代表の岸本鷹幸選手に夢をつかむことのお話と実技指導をしていただきました。

ご自身が経験した中で考えた努力と運について、オリンピックで出会った陸上のスター選手たちも人一倍の努力をしていること、オリンピック本番で怪我をした経験から学んだこと、壁にぶつかったら一人で悩まず様々な人に相談することなどのお話をしていただきました。1・2年生も参加した講演だったにもかかわらず、子どもたちはよく聞いていました。高学年は特に怪我をして学んだことや壁にぶつかったときのお話を集中して聞いていたように思いました。ハードル走の実技指導はあいにくの雨のため体育館になりましたが、5・6年生にとっては貴重な経験になりました。ご来校いただいた岸本選手をはじめ、「夢・未来プロジェクト」のためにご尽力いただいた所属企業、スタッフの皆様、本当にありがとうございました。

また、25日は2年生が「馬頭琴ミニコンサート」としてボルドエルデネ様、バトエルデネ様による演奏とモンゴルのお話を伺いました。大草原を揺らす風を連想させる馬頭琴の音色と、お二人が話すモンゴルのことに一つ一つ驚く子どもたちを見ていて、とても楽しいひとときを過ごしました。きっとこの子たちは「スーホの白い馬」を学習するとき、今日のことを思い出すことでしょう。素晴らしい機会をいただいた関係の皆様には感謝します。

この11月は、学芸会が開催されます。昔から多くの学校で教育活動に位置づけられてきましたが、今は学習指導要領などに、「各教科などにおける日ごろの学習の成果を総合的に発展させ、発表し合い、お互いに鑑賞する行事」とされ、「特別な児童だけが参加、発表するのではなく、何らかの形で全員が参加しているという意識が持てるよう」指導することとなっています。

学芸会では想像力や表現力が必要ですが、当然、得意な子も苦手な子もいます。それでも、一体となって作り上げなくてはなりません。一人一人の子どもの得意なことを発見しながら達成感を持たせたいと考えています。6年生は12月に連合音楽会への参加も控えています。学習の成果をぜひご覧いただき、児童とともに大人も心の中にレガシーを残したいと思います。

○ 学区内の工事のお知らせが**2件**届きました。工事中は車両に注意するように子どもたちに指導します。ご家庭でもお気を付けください。

工事場所：小川西町 5-45-1 さくら公園の南側
：小川西町 1-12 本校の南側こぶし通り沿い

○ 11月の芝刈りの予定 8日、15日、22日、29日の各水曜日 午後3時30分より